

平成 30 年 7 月 3 日

平成 29 年度地方公共団体における食品ロス削減の取組状況について

消費者庁では、関係省庁、地方公共団体や消費者団体を始めとする各種団体の皆様と連携し、食品ロス削減の推進に向けた取組を行っています。

この度、食品ロス削減に関する地方公共団体の取組状況について取りまとめましたのでお知らせいたします。

また、食品ロス削減に向けた民間の新たな啓発資材を紹介いたします。

【問合せ先】

消費者庁 消費者政策課

担 当 : 戸川、坂井、橋本

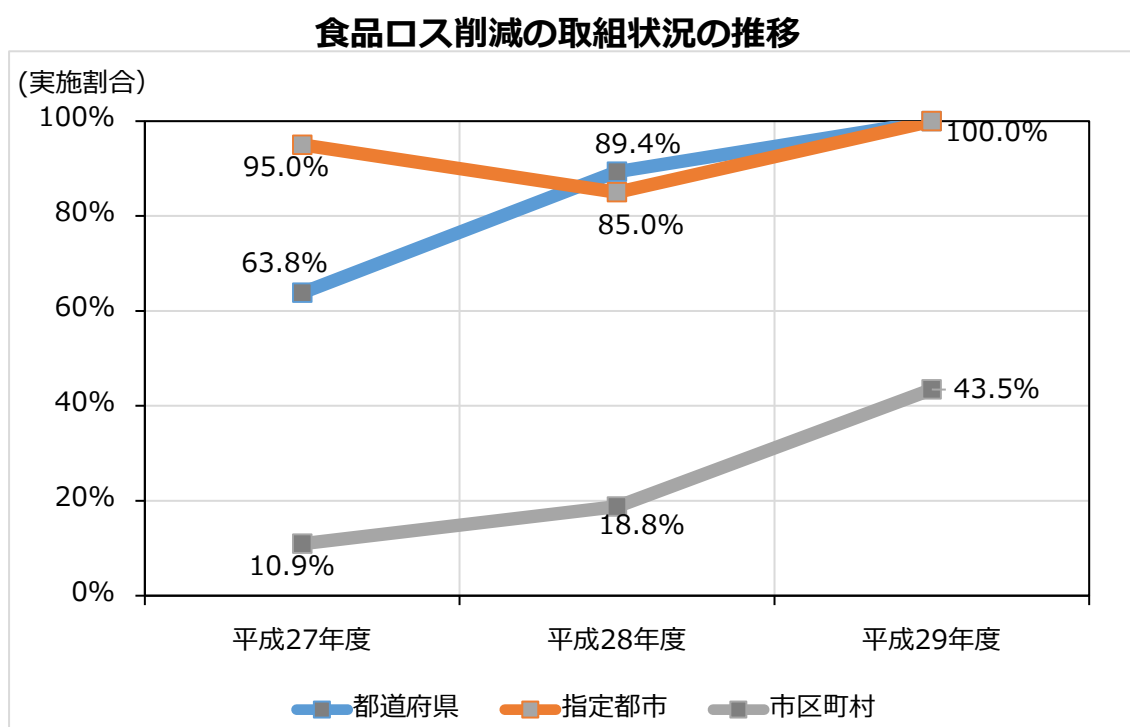
電話番号 : 03-3507-9244 (直通)

FAX : 03-3507-7557

平成 29 年度地方公共団体における食品ロス削減の取組状況について、取りまとめました。

〈主な結果〉

- 全ての都道府県及び指定都市 で取組を実施。市区町村でも、前年度から増加し、約 4 割が実施。



- 食品ロス削減の取組内容は、都道府県、指定都市及び市区町村のいずれも、「住民、消費者への啓発」が最も多い。次いで、都道府県では「飲食店での啓発促進」、「子どもへの啓発・教育」、指定都市では「食品ロスの実態把握」、「飲食店での啓発促進」、市区町村では「子どもへの啓発・教育」、「災害用備蓄食料の有効活用」の順に多い。
- 都道府県、指定都市、市区町村では、それぞれの特徴をいかした取組が実施されており、30 の自治体の取組を事例として紹介。

(参考) 民間の取組事例の紹介

消費者と事業者をつなぐ食品ロス削減に取り組むための啓発資材について、紹介します。

日本の食品ロス量は平成 27 年度推計で年間 646 万トン。年間 1 人当たりで換算すると約 51kg を捨てていることとなります。

食品ロスの削減に向け、食品を購入する場面での「買い方を変える」取組について、消費者の理解の下、事業者の協力を得て進めていく必要があります。

〈啓発資材の内容〉

今般、フードロスチャレンジプロジェクトは、食品ロス削減の取組として、「つれてって！習慣」を推奨する啓発資材を作成しました。この「つれてって！習慣」は、食品ロスを減らすために店舗での買い方として、「賞味期限の近いものから順番につれてって」、「無駄なく使いきれるように食べられる量をつれてって」、「家にあるものを思いだしながらかつれてって」、これらを習慣にすることを推奨するものです。

啓発資材は、「啓発資材の趣旨を説明したチラシ」、「消費者向けリーフレット」、「事業者向けリーフレット」の 3 種類です。

〈参考例：消費者向けリーフレット〉



資料提供：フードロスチャレンジプロジェクト
<http://foodlosschallenge.com/>

これらの啓発資材は、消費者庁ウェブサイト「[食品ロス削減] 食べ物のムダをなくそうプロジェクト」の民間の取組事例からご覧いただけます。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/case/#private